

第2次新温泉町総合計画

海・山・温泉 人が輝く 夢と温もりの郷

ふるさと未来へ

「つなぐ」まちづくり



新温泉町
Shin-onsen-cho

〈計画策定の趣旨〉

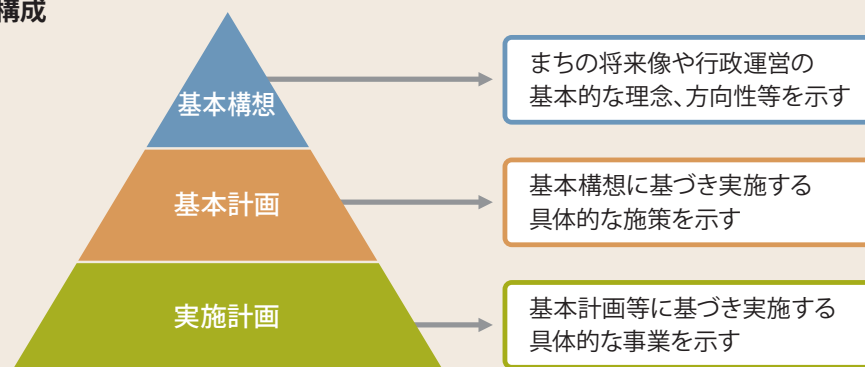
本格的な人口減少社会の到来、急速な少子高齢化、地域経済の停滞や自然災害に対する安全対策、また、地方分権や地方創生の推進など、本町を取り巻く環境はあらゆる分野で大きく変化しています。

そのため本町では、今後も引き続き、総合的かつ計画的な行政運営を推進するため、自らの責任と判断のもと、地域の実情に応じた新たなまちづくりの総合的指針として、第2次新温泉町総合計画を策定しました。

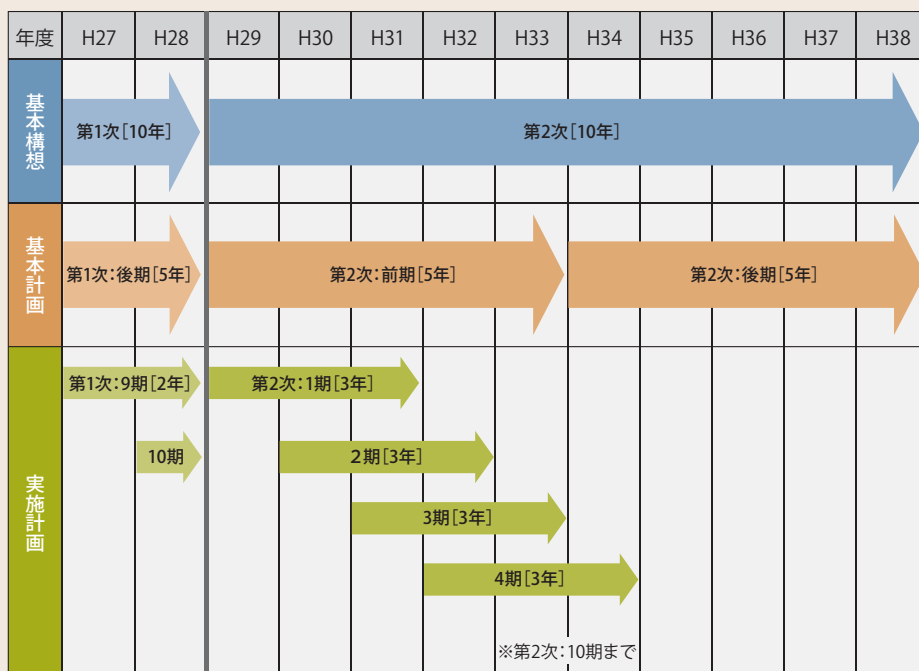
〈計画の構成と期間〉

計画は3つの層で構成し、計画期間は、基本構想は平成38年度までの10年間、基本計画は前期が平成33年度までの5年間、実施計画は3年間とします。また、実施計画は、毎年度、ローリング方式により点検・見直しを行います。

❁ 計画の構成



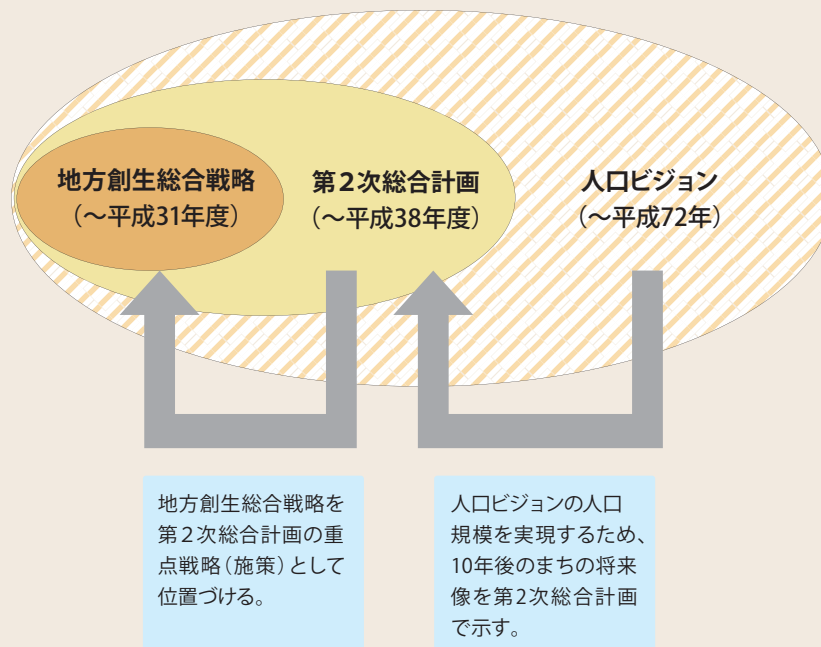
❁ 計画の期間



《 地方創生総合戦略との関係 》

新温泉町地方創生総合戦略を第2次新温泉町総合計画の重点戦略(施策)として位置づけ、本町の最重要課題である人口減少問題を柱とした対策に取り組みます。

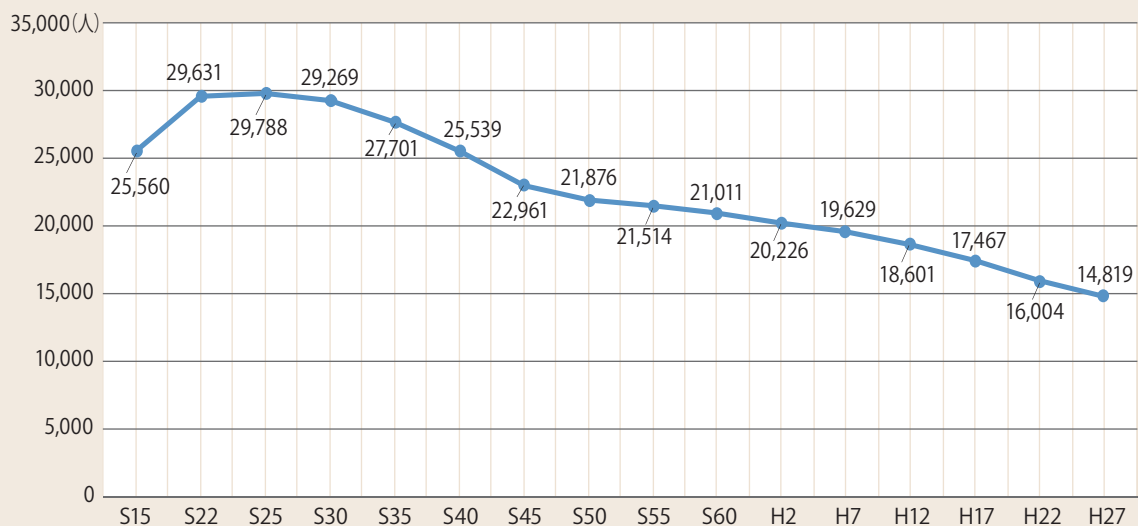
❁ 第2次総合計画と人口ビジョン及び地方創生総合戦略との関係イメージ



《 新温泉町の現状(人口推移) 》

本町の人口は、昭和25年の29,788人から減少が続いており、平成27年10月に行われた国勢調査では、14,819人となっています。

❁ 新温泉町の人口推移



資料：国勢調査

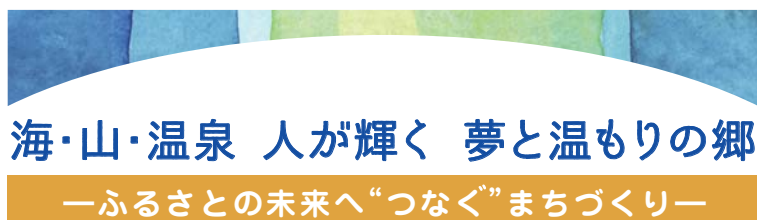
〈まちの将来像〉

本町を取り巻く環境は、刻々と変化し複雑化しています。

こうした中、本町が今後とも、住民一人ひとりが主役となり、『海・山・温泉』などの恵まれた自然環境を守りながら産業を発展させ、笑顔と安らぎを感じられるまちであり続けるために、人と人とのつながりを深め、『海・山・温泉』とひと・まちが、さらに調和のとれたまちになることを目指します。

また、今日の日本文化やONSEN文化のブームの中で、新温泉町は、日本食に代表される「和」の持つ温もり、奥ゆかしさなどのイメージを『海・山・温泉』を通じて発信し、それらを身近に育む全国的なモデルのまちとして、“ゆったり感”や“湧くわく感”、“季節感”を持った夢と希望のあるイメージにつなげていきます。

そんな想いを込めて、わたしたちは次のようなまちづくりを目指します。

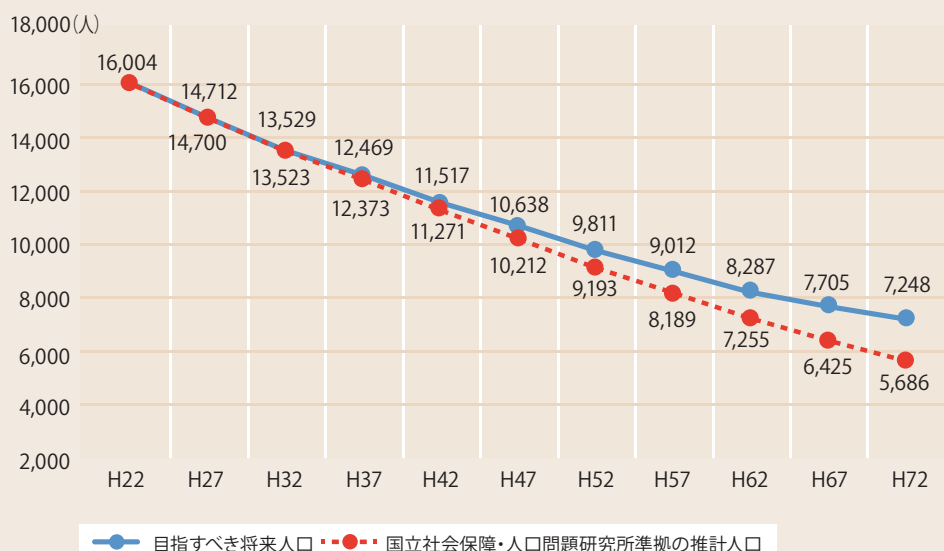


〈人口の将来展望〉

本町の人口動態は、これまでから転出数が転入数を上回る社会減の状態が続いているため、まず「転出の抑制」と「転入の促進」を施策の方向性として定め、転入・転出数の均衡（移動ゼロ）による人口減少の歯止めを目指します。

さらに、合計特殊出生率が県内でも比較的高い数値（平成22年1.76）で推移しているものの、今後、20～39歳の若年女性が減少していくことを見据え、中長期的な視点に立って、「出生数の増加」による自然増を目指し、新温泉町人口ビジョンに示す目指すべき将来人口の実現を図ります。

人口の将来展望





まちづくりの基本方針(政策)

まちの将来像

「海・山・温泉 人が輝く 夢と温もりの郷 ーふるさとの未来へ”つなぐ”まちづくりー」の実現に向けて、次の6つの基本方針(政策)を定めます。

1 豊かな資源を生かして 産業を育てるまち

●松葉ガニ、ホタルイカなどの日本を代表する海産物、神戸牛の素牛である但馬牛など、伝統とブランド力を有する農林畜水産業の強みを生かして、地域資源を活用した産業の振興を図ります。

●各産業における若い世代の担い手や後継者を確保するため、経営の安定化を図る取組を支援するとともに、やる気のある人が参入できる体制づくりを進めます。

●地域産業を活性化するまちづくりを目指し、商店街や魅力ある商店の活性化を支援するとともに、新商品の開発や新たな市場の開拓を支援します。



●本町が世界に誇る海・山・温泉の地域資源をさらに磨きあげ、それぞれの地域資源を結びつけて観光地としての魅力の向上を図り、賑わいのあるまちづくりを進めます。

●観光地としての知名度を高めながら、観光客の満足度を高める観光地を形成するため、観光情報の発信強化や外国人観光客を含めた受入体制の充実を図ります。

●本町の地域資源や立地条件等を生かした産業振興を図るため、行政と各産業団体間の情報共有や連携の充実を図り、産業振興体制を強化します。

●町内での新たな事業や雇用を創出するため、起業・創業の支援や町内企業の成長を支援するとともに、雇用の確保を目指し、新しい企業の誘致や安定した雇用・就労の場を提供する就労支援に取り組めます。



2 ふるさとを愛する

次世代を育て見守るまち



- 若者の結婚や出産の希望をかなえるため、未婚男女の出会いの場の創出や安心して子どもを生むことができる出産サポート体制の充実を図ります。

- 子育ての不安や悩みを解消し、安心して子育てができる環境を提供するため、ニーズに応じた子育て環境の充実を図るとともに、経済的支援や子育てと仕事の両立支援に取り組みます。

- 子どもがのびのびと学べる環境づくりと新温泉町へのふるさと意識の醸成に努め、地域力を生かした教育の充実、きめ細やかな教育を推進し、子どもの健やかな成長を支援します。

- 次代を担う青少年が心豊かに安心して暮らせるよう、家庭、地域、学校に加えて、各関係機関の連携を強化するとともに、「あいさつ運動」などを通じた青少年の健全育成を推進します。

- 子どもから高齢者までのすべての世代の人たちが自己実現できるよう、公民館や図書館等を効果的に活用し、ゆとりや個性、心の豊かさを重視した誰もが生きがいを持てる教育、学習活動を進めます。

- 「誰もが、いつでも、いつまでも」それぞれの体力、目的に応じて、日常生活の中でスポーツに親しみ、ライフスタイルにあった健康づくりができるよう支援します。

- 郷土の歴史・文化を後世に継承し、それらをより多くの人たちに伝えるため、その保護・保存、活用にも努め、特色ある地域文化の振興を図ります。

- 文化・芸術イベントや文化交流を推進し、世代間、地域間交流を深めるとともに、地域の魅力を高め、感性豊かな人づくりを進めます。



3 みんなで支えあう 絆のあるまち



●町ぐるみで健康長寿社会を実現するため、健康講座や健康相談、生活習慣病予防のための各種検診などを充実させ、住民自らの健康への関心を高めることで、健康づくりの輪を広げます。

●高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくために、地域包括ケアシステムの充実や関係機関、団体等との連携を図り、セーフティネットの強化を進めます。

●本町の地域医療拠点として、公立浜坂病院の医療機能を向上させるとともに、救急医療を含めた近隣の病院、診療所などの医療機関とのネットワーク化を図り、持続可能な「安心」の確保に努めます。

●要介護状態への移行抑止や要介護状態の悪化を防止するため、介護予防の取組を推進するとともに、支援の必要な人が必要とする介護保険サービス、高齢者福祉サービスを受けられる体制づくりに努めます。

●地域における助けあいと支えあいにより、すべての人がいきいきと暮らすことができるよう、行政、住民、関係団体が連携を図り、住民が主体的に参加する地域福祉活動の推進を図ります。

●障がいのある人が自らの能力を最大限に発揮し、個性豊かに生きることができるよう、自立した生活や社会参加ができるまちづくりを進めるとともに、障がいへの住民の理解を促進します。



4 安全で住みやすい

環境の整ったまち



- 近年多発する土砂災害や地震などの自然災害から、住民の生命・財産を守るため、災害に強い基盤整備や消防・救急活動に必要な活動用機材などを計画的に整備するとともに、消防団や自主防災組織などとの総合的な危機管理体制を強化します。

- 日常生活、経済活動の基盤であり、救急搬送や災害時の緊急輸送、他地域との交流を進めるうえで、重要な役割を担う道路を安全で機能的に整備し、一層の安全性と利便性の向上を図ります。

- 公共交通の利便性の向上とあわせて、交通手段を持たない人に配慮した公共交通の充実を図るなど、地域の実情に応じた交通体系を構築し、交通ネットワークを強化します。

- 地域や関係機関と連携して定期的なパトロールや情報交換を行うなど、交通安全や防犯対策を推進し、事故や犯罪を未然に防ぐ、安全・安心なまちづくりを進めます。

- ライフラインである上下水道施設の老朽化が進んでいるため、計画的な整備・更新と適正な維持管理を行い、良質な水道水を安定して供給するとともに、海や川などの良好な水質保全に努めます。

- 浜坂・温泉両地域における中心地の拠点性の維持・向上を図るため、中心市街地の活性化に向けた整備を進めるとともに、現在整備中の地域高規格道路山陰近畿自動車道のインターチェンジ周辺などの適正な土地利用に努めます。



5 自然と調和して

心地よく暮らせるまち

- 身近に存在する豊かな自然環境を再認識し、森林、田畑、河川、海岸などの保全と活用に努め、人と自然が調和し、共に生きる社会づくりを進めます。

- 子ども、高齢者、障がいのある人などに配慮した優しい生活環境を整備するとともに、空き家の活用などにより、自然と調和する住環境づくりに努めるなど、憩いと安らぎのある環境づくりを進めます。

- ごみの減量化や適正処理による環境への負荷の低減と再資源化による資源の有効活用を行うとともに、再生可能エネルギーを活用した取組を進め、持続的な循環型社会の形成による環境に優しいまちづくりを進めます。



- 高度情報化社会に対応するため、快適に利用できる情報通信基盤やシステムの整備に努め、利用者の視点に立った満足度の高い行政サービスを提供するとともに、情報セキュリティの強化を図ります。

- 悪質商法などの被害から住民を守るため、消費生活情報の提供機能を強化するとともに、消費生活センターに専門知識を持った消費生活相談員を配置し、あっせんや適切な助言ができる体制の充実に努めます。

- 湯村温泉、浜坂温泉などの優れた泉質と湯量を持つ温泉を利用し、全国的にも数少ない温泉の各戸配湯を行うほか、健康保養地づくりに活用するなど、「蛇口をひねれば温泉が出るまち」を生かしたまちづくりを進めます。



6 住民と行政が

夢をふくらませるまち



- 多様化する地域課題や住民ニーズに対応したまちづくりを進めるため、住民、地域、事業者などと行政が、お互いにその役割と責任を担い、参画と協働をさらに進めるとともに、地域コミュニティの維持・活性化を進める活動を支援します。

- あらゆる人権課題の解消に向け、人権教育・啓発活動や男女共同参画社会の推進など、人権が尊重され差別のないまちづくりを進めるとともに、「恒久平和の町」宣言をしているまちとして、平和を愛し、命を大切にすまちづくりを進めます。

- 将来にわたる持続可能な財政基盤と住民満足度の高い行政体制を確立するため、改革と改善を繰り返しながら、行財政改革の着実な推進を図り、健全な行財政運営を進めます。

- 近隣市町との連携による広域ネットワークの形成を強化し、医療や交通、観光などの分野での連携・交流を深め、生活基盤の充実と相互の発展を図ります。

- 交流人口の拡大による地域の活性化を図るため、山陰海岸ジオパークを活用した取組や都市農村交流などを進めるとともに、国際化に対応できるまちづくり・ひとづくりを行うため、国際交流を推進します。

- 本町の大きな魅力である自然環境や新鮮な食、活気あるイベントなどを行政、住民、企業、各種団体などがそれぞれに情報発信を行いながら共有し、支援しあえる体制づくりを進め、町全体の情報発信力の強化に努めます。





重点戦略(施策)

1 重点戦略(施策)の設定

第2次新温泉町総合計画のまちの将来像を実現するため、新温泉町地方創生総合戦略を重点的かつ戦略的に取り組むべき「重点戦略(施策)」として位置づけ、本町の最重要課題である人口減少問題を柱とした対策に取り組みます。

2 重点戦略(施策)の基本的な考え方

- ◎多くの若者のUターンしたいというその思いに十分に応えることができる雇用や子育てなどの環境づくり
- ◎Uターンしたいと思われるふるさとの魅力づくり
- ◎ずっと新温泉町で暮らす人(定住者)、これから新温泉町で暮らしてみたいと思う人(移住者)にとっても、まちにはいつも賑わいがあり、人と人とのつながりを実感することができる夢と温もりにあふれたまちづくり

3 重点戦略(施策)の展開

新温泉町地方創生総合戦略では、雇用・産業の振興、観光・交流の拡大、子ども・子育ての充実、そして、それらの相乗効果によって地域の活性化を図ることを戦略の視点としており、次の4つの基本目標とそれを実現するための施策の基本的方向などを定めています。

基本目標 1	まちを支える産業の振興 ⇒雇用・産業の視点
基本目標 2	まちでもてなす交流の拡大 ⇒観光・交流の視点
基本目標 3	まちが見守る若者の未来 ⇒子ども・子育ての視点
基本目標 4	まちでゆったり安心暮らし ⇒地域活性化の視点

施策の基本的方向

(1) まちを支える産業の振興

- ①新たな事業や雇用の創出
- ②地域産業の育成・支援

(2) まちでもてなす交流の拡大

- ①観光産業の育成・支援
- ②新たな交流の推進

(3) まちが見守る若者の未来

- ①出会いから出産までの希望の実現
- ②子育て支援の充実
- ③子ども教育環境の充実

(4) まちでゆったり安心暮らし

- ①快適な暮らしの確保 ②安全・安心なまちづくりの推進
- ③既存ストックのマネジメント強化 ④移住・定住の促進
- ⑤他地域との連携の促進

 基本計画(前期)の政策体系

まちづくりの基本方針(政策)	施 策
1 豊かな資源を 生かして産業を 育てるまち	(1) 農林畜水産業の振興
	(2) 商工業の振興
	(3) 観光業の振興
	(4) 地域産業の振興
	(5) 起業・雇用対策の推進
2 ふるさとを愛する 次世代を育て 見守るまち	(1) 子育て支援の充実
	(2) 教育の充実
	(3) 青少年の健全育成
	(4) 生涯学習の推進
	(5) スポーツの振興
	(6) 歴史・文化・芸術の振興
3 みんなで支えあう 絆のあるまち	(1) 健康づくりの推進
	(2) 医療環境の充実
	(3) 地域福祉力の向上
	(4) 高齢者福祉の充実
	(5) 障がい者福祉の充実

まちづくりの基本方針(政策)	施 策
4 安全で住みやすい 環境の整ったまち	(1) 消防・防災の推進
	(2) 道路網の整備
	(3) 交通・移動手段の充実
	(4) 交通安全・防犯対策の充実
	(5) 上下水道の整備
	(6) 市街地の整備
5 自然と調和して 心地よく 暮らせるまち	(1) 自然環境の保全
	(2) 生活環境の充実
	(3) 循環型社会の形成
	(4) 高度情報化の推進
	(5) 安心な消費生活の推進
	(6) 温泉配湯の利活用
6 住民と行政が夢を ふくらませるまち	(1) 参画と協働の推進
	(2) 人権・平和の尊重
	(3) 行財政改革の推進
	(4) 広域連携・交流の強化
	(5) 情報発信の強化



新温泉町

〒669-6792 兵庫県美方郡新温泉町浜坂2673-1

TEL:0796-82-3111(代) FAX:0796-82-3054

<http://www.town.shinonsen.hyogo.jp/>